

本島通信

本島大教会 春季大祭神楽殿講話 (要旨)

立教187年1月22日

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R.240125-0127-20
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島話所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)

https://www.honjima.com
 Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間
 [2月1日~2月15日]
 朝づとめ 午前6時45分
 夕づとめ 午後6時15分
 [2月16日~3月31日]
 朝づとめ 午前6時45分
 夕づとめ 午後6時30分

教祖年祭活動の第二日目、心を引き締め、積極的に歩もう

本島大教会長 片山幹太

かたやま かんた

本島大教会春季大祭にお帰り頂き、誠にありがとうございます。只今は結構におつとめを勤めさせて頂きました。只今から思うところをお話ししたいと思いますのでよろしくお話しします。

今年 は元日、能登半島地震が発生し、親神様から大きなふしをお見せ頂いております。

論達に「頻発する自然災害や疫病の世界的流行も、すべては私たちに心の入れ替えを促される子供可愛い親心の現れであり、てびきである」とお教え頂きますように、他人事ではなく、私たち自身の問題として受け止めて頂きたいと思えます。

被災されている皆さまが、一日も早く元通りの生活に戻れるご守護を頂けるよう、お祈り申し上げるとともに、私たちも人をたすける心に入れ替えて努めさせて頂きましょう。

そこで教祖140年祭活動は我が事として勤めているでしょうか。

そこで本日は、論達にお示し下さっている明治22年11月7日のおさしづについて、学んでみたいと思えます。

おさしづには主に、制限さしづと伺いさしづの2種類があります。論達にある明治22年11月7日は制限さしづになります。親神様の強い思召があることを心において読ませて頂きましょう。

おさしづの冒頭は、「さあく、一寸話仕掛けるでく。」と始まります。

このおさしづの頃の史実を振り返りたいと思えます。

教祖が明治20年陰暦正月26日に現身をお隠し遊ばされて1年後の明治21年陰暦正月26日、教祖一年祭は約3万人が帰り集ったものの、祭儀の途中、樺本警察分署の巡査がやって来て、中止を命ぜられました。

人々は、どうでも天理教会を設置して、公然と人を集めることができると言っていたと話合ったものの、教会設置は明治18年に大阪府へ2度願ひ出て却下された経緯があり、大阪府から分かれた奈良県に願ひ出て、大阪府と同じ意見と見られたため、

まず東京府へ願ひ出て、認可されれば奈良県へ移す方法が取られました。

そこでおさしづを仰いだところ「どんな道も(神が)連れて通ろう(明治21年3月9日)」と仰せられ、早速教会設置願の準備を整えて出願し、4月

10日に東京府の認可を得て、続いて7月23日おちばへ移転することに成功し、11月29日(陰暦10月26日)天理

教会本部開筵式が執り行われました。これでようやく堂々と人々を集め、おつとめを勤めることができること、先人が安堵し、いろいろな規則や役職もできていたときに、これからの

おさしづを戴くことになりました。「難しい事は言わん。難しい事をせいと、紋型無き事をせいと云わん。皆一つく、のひながたの道がある。ひながたの道を通れん」というような事ではどうもならん。」

意味は、「むずかしいことは言っていない。また、お前たちのできないようなことをせよとも、どうしてよいかわからないようなことをせよとも言うていない。お前たちのなすべきことについては、すべて一つ一つについて教祖の行為を通して教えておいたひながたの道がある。そのひながたの道を通れないというよう

なことではどうにもならない。「おきしづ研究」
 続いて、

「あちらへ廻り、日々の処、三日と言え、五十日向うの守護をして居る事を知らん。これ分からんような事ではどうもならん。」

意味は「存命の教祖は日々あちらこちらと先回りをして守護している。たとえば三十日むこうのことを願えば、五十日むこうの守護をしているのである。そのことを、お前たちは知らずにいる。この親心がわからないうようなことではどうにもならない。「おきしづ研究」

続いて、

「中略」世界道というは、どんな道あるやら分からん。世界の道は千筋、神の道は一条。世界の道は千筋、神の道には先の分からんような事をせいとは言わん。ひながたの道が通れんような事ではどうもならん。」

意味は「世上の道というものは、先々どんな道があるかわからない。世上につけられた道は幾筋にも分かれており、どの道をたどればよいかわ明らかではない。しかし神の道は陽気ぐらしへの一筋の道である。世上

の道は千筋であつて、先々行き迷つてしまふような道もある。一条の神の道では、先々どうなるかわからないことをせよとは教えてはいない。かならず先々に結構と思う道を見せるのが神の道、ひながたの道なのである。そのひながたの道を通れないというようなことは、どうにもならないのである。「おきしづ研究」

「中略」ひながたの道を通らねばひながた要らん。ひながたなおせばどうもなろうまい。これをよう聞き分けて、何処から見ても成程やというようにしたならば、それだよいのや。」

意味は「たすけ一条のために示した、そのひながたの道を通らないようならば、教祖が示したひながたの道というものは必要がなくなつてしまふ。ひながたをしまいこんでしまつて通ろうとしないようなことがあつては、神の思いは無意味になつてしまふ。このことを、よく聞きわけて、どこから見ても、なるほどひながた通り、りっぱな通り方をしていると言われるようにしたならば、それでまちがいないのである。「おきしづ研究」

「中略」一年後というものは、大方成るかと思えばどんと行き、これではならんという処から、一寸道を開き掛けた。まあ、世界から見れば往還。細道は通りよい、往還通り難い。何を言うと思う。往還通り難いという理聞き分けたら、三日の間や。」

意味は「教祖が現身をかくしてから一年後には、もうこれで大きな道に、ほとんどなるかと思われたのに、いろいろの事情で、どんと行きづまつてしまった。そこでお前たちは『これではならん』というところから、あれこれ手を尽くして、行きずまつた道をやつと開きかけ教会を設置するまでになった。こうしたこと

を、まあ、世間的に見れば、往還道に出たと言えるかもしれない。しかし細道は通りやすく、往還道は通りにくいのである。このように言えば、お前たちは『それはどういう意味であらう』と不審に思うにちがいない。そのわけを言うと、つまり、この道

は第一に心の道であるから、たとえば、細道を通る場合には心をくばり、つつしみ深く通るから危げないのであるが、往還道では、とかく心にゆだんして通るから、しばしば道をふ

みはずしてしまふのである。こうした意味で、往還道は通りにくいものであるという道理を聞き分けたならば、このさき教祖五年祭まで三年、いわば、三日の間のことであるから、しつかりつとめてくれなければならぬ。「おきしづ研究」

このおきしづでは、直接には、1年前に天理教会本部が設立され、教内は喜びにわき立つたが、3年後に迎える教祖五年祭を目標に、教祖のひながたの道を真にひながたとして、三年千日を精一杯に通る、国々所々の手本となるようにと教えられたおきしづになります。

だからこそ、年の初めに見せられた震災の大ふしや、周囲に現れる身上や事情は、いわゆる細道を心を引き締めて通るようという親心であると悟ることができます。どうかお互い改めて心を引き締め、第2年目を歩ませて頂きたいと思ひます

今年は中山善衛前真柱様の十年祭が勤められます。その前真柱様が作詞作曲された「親神様の守護」という歌があります。一番の出だしは「その昔その昔」と

過去のことを、二番は「日に日に」に」と現在のことを、そして三番は「どこまでもどこまでも」と未来末代に及ぶ親神様のご守護の歌になります。

親神様の守護

一、その昔 その昔 元初め

親神様は 人間お創り

道具衆引き寄せ 動きを教え

天地を固め 世界を造り

万物に 生命を授け

成人を 成人を 守護

二、日に 日に へだてなく

親神様は 身の内お守り

目で物を見せ 耳で理を聴き

鼻でかぎわけ 口でかみわけ

手で働かせ 足で運ばせ

自由の 自由の 守護

三、どこまでも どこまでも

いつまでも

親神様は いちれつお育て

親が子となり 子が親となり

長の年月 変わることもなく

立毛を与え 自然を恵み

末代の 末代の 守護

改めて歌うと、親神様のご守護を

身近に感じられる素晴らしい歌であ

ることに気づきました。もし勇めな
いときがあれば、ぜひこの歌を歌っ
てみましょう。

最後に私は、教祖年祭活動はお道
が分かって人だけのための三年
千日とは考えていません。

これからの時代を担う少年会員の
ための年祭活動でもあると思います。
少年会員にとってこの年祭活動は、
信仰的な心を身につける大事な旬で
あると思います。

そこでこのたび、天理教少年会本
島団として教祖140年祭に向かって
「少年会員成人目標」を掲げました。
(別段掲載)

各教会にA3サイズポスターを1
枚ずつ、さらにA4サイズを5枚ず
つ配布します。もっと必要な教会は
総務へご連絡ください。

少年会員も年祭活動を通して、一
歩ずつ心の成人ができるように導い
ていきましょう。

年祭活動の第2年目、心を引き締
め、お互いに声を掛けあい、励まし
合いながら、教祖年祭に向かって人
たすけに努めさせて頂きましょう。

ご清聴ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

教祖140年祭に向かって

天理教少年会本島団

少年会員成人目標



わかぎ (中学生)



- 1.すすんでひのきしんをします
- 2.何事も人の身になって考え行動します
- 3.生かされている事に感謝します

あおば (小学4年~6年)



- 1.約束を守ります
- 2.たすけあいの心を大切にします
- 3.親孝行を心がけます

ふたば (小学1年~3年)



- 1.元気よく「朝起き」します
- 2.兄弟姉妹や友達と仲良くします
- 3.おつとめができます

めばえ (就学前)



- 1.あいさつができます
- 2.ものをたいせつにします
- 3.「おやがみさま」「おやさま」のなまえがいえ
ます → 「てんりおうのみことさま」「なかやまみきさま」



春季大祭祭典役割

春季大祭祭文

立教百八十七年一月二十二日

献饗長 井上哲
伝供 大西知・永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・高垣光治・雲庵春彦・茶屋原良昭・横山正次・高島栄造・横関茂治・長尾海和・岩橋守行・窪田卓夫・香川勝巳・白垣初生・滑川善久・長濱充憲・

座りづとめ 大教会長 岩橋慶三 老木邦光 平井真治郎
てをどり前半 牧野道昭 平井真治郎
てをどり後半 向所隆文 片山直明

祭主 大教会長
指方 岡崎マロン
扨者 平井真治郎
賛者 片山直明

雅楽奉仕者 文岡育則・池田恒治・片山秀明・上山薫・伊東賢太郎・鎌田康典・伊東慎平・白垣俊生(順不同)

鎌田典夫・橋口徹・岩橋秀一・宮路和徳・山下英久・江草克二

神殿講話	ちやんぼん	井上哲	横山富明	岩橋守行
	拍子木	雲庵道延	高島栄造	岩橋秀一
	太鼓	長谷川邦昭	篠原丕王	山下英久
すりがね	窪田靖明	後藤正治	茶屋原良昭	横関茂治
小鼓	寺本教生	岡崎八十則	横山正次	鎌田典夫
三味線	片山孝代	片山榮	向所暉美子	梅木澄代
胡弓	長尾澄子	雲庵まち子	岡崎むつゑ	佐藤道子
大教会長			上田敬子	

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます

親神様には一れつ子供の陽気ぐらしを楽しみにこの世人間をお創め下され旬刻限の到来と共に教祖をやしろにこの世の表にお現れ下さり世界たすけの最後の御教えをお啓き下さいました

以来永の年限果てしなき親心と自由の御守護のまにまにお連れ通り頂きましたすけ一条の御用にお導き下さいます親心の程は誠に有難く勿体ない極みでございます

その中にもこの月二十六日は教祖が子供の成人をお急ぎ込み下さいます深い親心から二十五年先の定命をお縮めになり扉を開いて世界ろくぢにふみならしにお出まし下さいました尊いゆかりの月に当りますのでぢばの理に慣い只今からおつとめ奉仕者一同お教え頂いたつとめの重き理を心に治め澄み切った心で一手一つに座りづとめ・てをどりを陽気に勇んで勤めさせて頂き春の大祭を執り行わせて頂きます

御前には折からの寒さも厭わず国々所々より帰り集いました本島の道につながる一同が日頃のご高思に御礼申し上げます思いも新たにたすけの旬に一層の成人をお誓いする真実の状をもご覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

本年早々の元日に思いもよらない大震災の厳しい大節をお見せ頂いておりますが人間の力では遠く及ばないこのお仕込みに対して私共の為すべきこ

入社祭

立教187年1月の入社祭はありませんでした。

とは何なのかと自らの歩み方を振り返り改めて教祖の道具衆としての自覚を高めて緊張感をもって御存命の教祖にご安心頂きお喜びいただけるよう心を引き締め直して三年千日二年目の年祭活動に邁進させて頂く決心でございます

またこの月二十五日には「教会長夫妻おたすけ推進のつどい」を本島詰所において開催させて頂くに当り御本部よりたすけ委員会松村義司委員長の御講話を賜り続いて参加者による「ねりあい」を行いお互いが年祭活動一年目を振り返り二年目の年にふさわしい成果をお見せ頂けるよう進めさせて頂く所存でございます

何卒届かぬながらも年祭活動に勇む一同の上には一層のお導きに合わせて大震災に被災された方々の一日も早い復興と共に「世界一列皆兄弟」の思召にかえり互い立て合いたすけ合う陽気ぐらしの世の状に立て替わりますようお連れ通りの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

(原文のまま)

1月22日(月)
【香川県丸亀市】

天候 晴後一時曇

最低気温 2.7℃

最高気温 12.2℃

平均気圧 1018.1 hPa

平均湿度 77%

平均風速 3.0 m/s

日照時間 7.1時間

降水量 2.5 mm

※降水量は一日の総雨量

教祖140年祭 教会長夫妻おたすけ推進のつどい

本島大教会では「教祖140年祭教会長夫妻おたすけ推進のつどい」を1月25日午後1時より本島詰所4階講堂にて開催し、教会長夫妻など74名が参加しました。

これは教祖年祭活動の第2年目にあたり、各々の心定めと実行をさらに前に進めるため、本部たすけ委員会より打ち出され、各直属教会ごと独自のプログラムを編成して実施されるもの。



鳥地震の大ふしをお見せ頂いていることに触れ、「震災を他人事ではなく我が事として受け止めさせて頂きたい」と述べた上で、「教祖年祭活動が我が事になっているか。心

定めて実行しているか。おちばの理を戴いているか。」と問いかけられ、年祭活動第2年目を心引き締めて進むことを呼びかけました。

続いて宮森与一郎内統領のビデオメッセージを視聴したのち、講師の本部員・松村義司先生(本部たすけ委員長)が登壇。約1時間の講話をいただきました。

松村先生は今回の年祭活動では特に「自分から求めて、自分の意志で心定めることと、ひながたを目標にたすけ一条を歩むことの二つが大事」とし、本部や大教会から言われたことをただするのではなく、自分自身に厳しく、力の要る年祭活動と言えるのではない



かと分析。そして年頭、真柱様より能登半島地震のふしについて「心を通わせる」と仰せ戴いたことから、「教会長夫妻は日々の勤めとして周囲に心を通わせること。ふしに萎縮するのではなく、ふしを前向きに捉えて、足りないところが見つければ補っていくように勤めよう」と述べられました。

さらに松村家の入信のきっかけになった松村さくと教祖の逸話を引用され、「教祖ひながたを目標に教えを實踐することは、日々の振る舞いが自然と周囲に伝わっていくこと」「たすけ一条を歩むポイントとは、日々をいがい、積極的なおたすけ、おちばの理を戴くこと」と、教祖ひなが

立教百八十七年元旦祭祭典役割

祭主 指図方	祭典		地 方	てをどり
	大教会長 片山 勲	扨者		
	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	
	大教会長 片山 勲	扨者 窪田靖明 永山晴明	賛者 横山正次 横山富明	
胡 三 味 琴 弓	片山眞喜代 長尾善絵	片山眞喜代 永山みずゝ 上野里子	片山眞喜代 会長夫人 長尾澄子	片山眞喜代 片山やすゝ 上野里子
小 鼓	長尾海和 三宅しまえ	片山眞喜代 上野道貞	片山眞喜代 片山眞喜代	片山眞喜代 片山眞喜代
太 鼓	長尾直太郎 片山昇太	片山好次 上野道貞	片山好次 片山好次	片山好次 片山好次
拍 子 木	上野道貞 片山昇太	片山好次 上野道貞	片山好次 片山好次	片山好次 片山好次
ち ゃ ん ぼ ん	横山富明 長尾大助	片山秀明 上野善	片山秀明 片山秀明	片山秀明 片山秀明
て を ど り	長尾澄子 片山やすゝ 片山やすゝ 長尾澄子	長尾澄子 長尾善絵	長尾澄子 上野里子	長尾澄子 上野里子
	大教会長 窪田靖明 永山晴明 会長夫人 片山やすゝ 長尾澄子	窪田靖明 横山正次 長尾直太郎 片山やすゝ 長尾澄子	大教会長 永山晴明 片山好次 片山眞喜代 永山みずゝ 上野里子	大教会長 永山晴明 片山好次 片山眞喜代 永山みずゝ 上野里子

たはたすけ一条の道であり、特に「おつとめ」と「おさづけ」の実行が大切であると述べられました。

講話の後、ビデオを1本視聴し、続いて10班に分かれて練り合いを実施。年祭活動の

歩み方について各々の思案を深めて閉会。午後5時15分の本部夕づとめに参拝して終了しました。

なおつどいには、天理教道友社の取材が入りました。

計報

本島大教会役員
与島分教会前会長

岡崎俊郎氏



岡崎俊郎氏(大教会役員、与島分教会6代会長)は去る令和6年1月21日午後0時13分お出直しになりました。享年89歳。葬儀はみたまうつしを1月23日午後7時より、告別式を翌24日午前10時より、本島大教会において大教会長斎主のもと執り行われました。

岡崎俊郎氏略歴 昭和9年12月11日生まれ。昭和28年2月5日、おさづけの理拝戴。昭和32年6月30日、教会長資格検定合格。昭和32年7月16日、教師補命。昭和34年7月22日、大教会神殿ふしん実施部付。昭和40年3月20日、倉嶋育子さんと結婚、二男一女に恵まれる。昭和46年11月22日、大教会神殿奉仕人。昭和56年10月26日、与島分教会6代会長拝命。昭和57年10月21日、大教会役員登用。昭和59年3月5日、修養科第515期一期講師。平成7年12月20日、与島分教会お社取替。神殿屋根葺替・改称鎮座奉告祭。平成13年10月22日、大教会法人部部长。平成14年9月22日、宗教学人天理教本島大教会責任役員。立教171年6月26日、与島分教会長辞職。教会長在職期間26年8ヶ月間。大教会神殿講話は13回勤められた。本部詰員。

本備前分教会前会長 伊東キミエ 姉

伊東キミエ姉(本備前分教会3代会長)は去る令和5年12月29日午前1時29分お出直しになりました。享年92歳。葬儀はみたまうつしを12月30日午後6時より、告別式を翌31日午後0時30分より、兵庫県西宮市内の葬祭場にて池田さわみ安藝本中分教会長斎主のもと執り行われました。告別式に大教会長が参列されました。



伊東キミエ姉略歴 昭和6年9月20日生まれ。昭和27年12月25日、おさづけの理拝戴。同年12月27日、修養科第138期修了。昭和29年11月30日、教会長資格検定合格。同年12月24日、教師補命。昭和52年11月22日、大教会神殿奉仕人。昭和56年1月22日、婦人会本島支部本備前委員長。同年10月26日、本備前分教会3代会長拝命。立教159年11月4日、本備前分教会神殿落成奉告祭。立教167年4月26日、本備前分教会長辞職。教会長在職期間22年6ヶ月間。

大教会役員夫人 高島百年子 姉
撫川分教会副委員長夫人

高島百年子姉(大教会役員夫人、撫川分教会6代会長夫人)は去る令和6年1月24日午前9時48分お出直しになりました。享年86歳。



葬儀はみたまうつしを1月27日午後7時より、告別式を翌28日午前10時より、本島大教会において大教会長斎主のもと執り行われました。

高島百年子姉略歴 昭和12年11月15日生まれ。昭和31年12月22日、おさづけの理拝戴。同年12月27日、修養科第186期修了。昭和42年2月16日、教会長資格検定合格。同年2月28日、教人登録。昭和42年3月20日、高島清弘氏と結婚、一男二女に恵まれる。昭和56年1月22日、婦人会本島支部撫川委員長。昭和63年4月18日、婦人会本島支部委員(以後6期22年間勤務)。平成18年11月22日、大教会神殿奉仕人。

本恵分教会副委員長夫人 沖野八重子 姉

沖野八重子姉(本恵分教会2代会長夫人)は去る令和6年1月9日午前5時20分お出直しになりました。享年92歳。葬儀はみたまうつしを1月10日午後6時より、告別式を12日午後3時より、本恵分教会において家族葬で営まれました。

沖野八重子姉略歴 昭和6年7月29日生まれ。昭和29年9月18日、おさづけの理拝戴。同年9月27日、修養科第159期修了。同年12月30日、教会長資格検定合格。昭和30年1月17日、教師補命。昭和56年1月22日、婦人会本島支部本恵委員長。立教174年12月26日、修養科第846期修了。

葬儀の祭儀式変更について

1月27日の本部かなめ会において、葬儀の祭儀式一部変更が発表され、今後教会本部では新しい祭儀式で葬儀が執り行われることになりました。

変更点は三つ。①被詞と被行事はなし。②玉串(榊)は用いず礼拝のみ。③名旗はなし。なお各地において地域性を鑑み、旧祭儀式でもよいとのこと。

新しい「おつとめ及び祭儀式(天理教教会本部祭儀委員会)」は2月25日に道友社より販売される予定です。

大教会では1月27日、高島百年子刀自の葬儀から新祭儀式で葬儀が執り行われました。

また1月23日、岡崎俊郎主みたまうつしでは、岡崎マローン役員が大教会葬儀では海外教会長として初めて被主を勤め、被詞を奏上しましたが、計らずもこれが大教会での最後の被詞となりました。

第48回鼓笛隊北海道地区冬季合宿

本島団鼓笛隊(佐藤道子部長)では、1月12日から14日まで、樺太分教会(平井真治郎会長、北海道美唄市)を会場に、第48回北海道地区冬季合宿を実施。隊員3名、リーダー3名、ひのきしん者6名が参加しました。

今年会場となった美唄市は積雪が多く、集合当日は雪が深く降り積もりましたが、残り2日間は晴れ間も見られ、無事に開催することができました。

主に規律訓練とパート練習を行い、最終日の14日は神殿にて御供演奏を実施。マーチ



3曲と、「ありがとう!夏の「おちば」「パレード・ザ・ホンジマ」を演奏。練習は少人数で短時間だったものの、規律ある演奏を親神様・教祖・祖霊様にお供えしました。

閉講式では大教会長よりメッセージが届けられました。「今、お道では、2年後の1月26日に勤められる教祖140年祭に向けて、三年千日成人の歩みを進めているところです。鼓笛隊にたとえると、三年千日は合宿練習、教祖140年祭はおちばでの御供演奏やオンパレードなど本番に当たると言えます。この三年千日は

普段の生活より教祖の親心を意識して、教祖ひながたの道を目指し、心の成人を目指した生活を送ることです。本番目指して、心の成人に努めましょう」とのメッセージが代

読されました。

なお、指導員として、佐藤道子、奥村由多加の2名が派遣されました。

向所トヨエ30年祭

赤峰分教会(向所隆文会長、宮崎県都城市)では、1月13日午後1時30分より大教会長を迎え(随行・岩橋慶三役員)、同教会初代会長夫人向所トヨエ30年祭を執り行いました。当日は日の出から日没まで雲一つない快晴に恵まれ、赤峰のお母さんと慕われた故人の信仰を仰ぎ偲びました。参拝者108名。



ご誕生おめでとう

西森琴音さん

(令和5年12月30日生まれ、栄森峰分教会)



青年会雅楽講習会

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、1月13日と14日、本島詰所において「新春雅楽講習会」を開催。8名が参加しました。初心者も平調、経験者は老越調の習得に励みました。



すき間のおはなし

龍王山登山体験談

天理の東側の山並みを眺めて、なんとなく一番高い山が龍王山(標高585m)。今年の干支辰年にちなんで1月上旬、登ってきました。柳本町にある天理市トレイルセンターを出発し、往路は崇神天皇陵から龍王山古墳群を抜けるルートを登り、途中長岳寺奥の院を経由して山頂にある龍王山南城跡へ。ここは中世、大きな山城が築かれていましたが、一度も戦いに使われることなく廃城となりました。山頂からは大和三山の耳成山と畝傍山が見られ、また遠くには明石海峡と明石大橋を望むことができました。



今から約30年前、本島詰所で行われた教理勉強会で井上昭夫先生が語った「本部月次祭の時間、龍王山の山頂ではかぐらづとめが聞こえる」という話を思い出しました。その時は嘘だろうと思いましたが、実際に立った今でも信じられないですが、それでも生きていく間いつかは試してみたいと思いました。復路は龍王山北城跡を経由して長岳寺へ下るメインルートを歩いたところ、週末ということもあり、驚くほど大勢の登山者ですれ違いました。往復約3時間。写真は龍王山山頂からの眺めです。(むかいじよ)

事情は、いび

立教187年1月、本島関係のお運びはありませんでした。

おさづけの理拝戴

立教186年12月分
本島 片山昇太
銀峰 内 芳人

修養科第989期修了

(立教187年1月27日修了)
本島 片山幹太郎

をびや許し

(立教186年12月分)
本島 片山友佳

証拠守り下附

(立教186年12月分)
本権1 [計1名]

大教会長動向

▼2月(予定)▲
3日、香川教区役職者会議
4日、本部神殿奉仕当番
12日、本廣分教会巡教
13日、本勇分教会巡教
17日、本九分教会巡教
18日、本邦分教会巡教
22日、大教会月次祭執行
24日、修養科門出まなび
25日、かなめ委員会
宮森先生おてなoshi
26日、本部月次祭参拝
27日、かなめ会
以上

ろくぢ会

(立教187年1月分)
▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本権△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇徳分教会 ▼本高分教会 ▼ポランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

布教部報告(1月分)

数字は本年の提出回数です。1月は全教会「1」となります。

統計(12月1日~31日)

Table with 2 columns: にをいがけ名簿提出教会(1月) and おさづけ取次報告教会(1月). Lists church names and counts for various regions like 本島, 本倉岡, etc.

Summary table for statistics (12月1日~31日) with columns: 教会名, 初席, 中席, 雲石壇, 修養科, 教人講習, 検定講習. Total counts are 2, 2, 2, 2, 0, 0.



おやさとふしんひのきしん隊FLAT隊

【天理教青年会】

おやさとふしんひのきしん隊
結成70周年記念FLAT入隊

※参加申込みは、天理教青年会ホームページより各自が行う形式になっています。要項についてはQRコードを読み取ってご覧ください。



教会長後継者コース

●対象：直属分会委員長が推薦する23歳～40歳の教会長後継者

●開催日程：

23歳～31歳の教会長後継者

第1回：5月4日(土)～5月5日(日)
第2回：7月13日(土)～7月14日(日)
第3回：11月9日(土)～11月10日(日)

32歳～40歳の教会長後継者

第1回：3月16日(土)～3月17日(日)
第2回：6月15日(土)～6月16日(日)
第3回：9月7日(土)～9月8日(日)

●集合時間：開催日初日の午前8時00分(時間厳守)

●解散時間：2日目の17時頃

●場所：百母屋

●内容：ひのきしん、グループワーク、レクチャー、懇親会など

●定員：各回先着50名

●受講費：一人2,000円

●持ち物：宿泊の用意、筆記用具、長ズボン、ベルト、保険証

学生層コース

●対象：直属分会委員長が推薦する19歳～22歳の学生層の会員

※教会長後継者以外でも申込可能

※申込上限：各分会2名まで

●開催日程：

第1回：8月8日(木)～8月9日(金)
第2回：8月17日(土)～8月18日(日)
第3回：9月5日(木)～9月6日(金)
第4回：9月14日(土)～9月15日(日)

●集合時間：開催日初日の午前8時00分 百母屋集合(時間厳守)

●解散時間：2日目の11時30分頃

●場所：百母屋、蛇谷山

●内容：蛇谷山ひのきしん、グループワーク、懇親会など

●定員：各回先着30名

●受講費：一人2,000円

●持ち物：宿泊の用意、筆記用具、長ズボン、ベルト、保険証

離島航路運賃無料キャンペーン (2/1~2/29)

【丸亀市生活環境課 離島振興室】

令和6年2月1日(木)～2月29日(木)の1か月間、離島航路運賃無料キャンペーンが実施されます。

※旅客運賃のみ無料となります。自動車航送運賃や手荷物運賃は無料にはなりませんのでご注意ください。

＜ご利用方法＞

①航路事業者窓口にて、無料乗船券を受け取る。

②乗船時に船員へ乗船券を渡す。

(注意事項)

◇無料期間中、回数券や定期券は使用できません。乗船される際は、普段、回数券や定期券を利用されている方も含めて全員、必ず航路事業者窓口へお立ち寄りください。

●本島汽船株式会社

◇牛島から乗船される場合は、船内で対応します。

◇19:30本島発、20:00丸亀発の便に乗船される場合は、船内で対応します。

●備讃フェリー株式会社

◇丸亀港から、6:05発または6:50発の便に乗船される場合は、船内で対応します。

◇青木、小手島、手島から乗船される場合は、船内で対応します。

◇無料期間中は、丸亀港販売機での旅客乗船券の販売は休止します。(自動車航送券や手荷物券は、通常通り券売機で販売します。)

●六口丸海運有限公司

◇6:25児島発、18:30児島発の便に乗船される場合は、船内で対応します。

＜対象航路＞

●本島汽船株式会社

0877-22-2782 (丸亀～牛島～本島)

<https://honjima-kisen.com/about/>

●備讃フェリー株式会社

0877-22-3318 (丸亀～広島～小手島～手島)

http://bisan-ferry.jp/time_table/#timeTable

●六口丸海運有限公司

086-474-6199 (児島～本島)

<http://mukujimaru.co.jp/teikisen.html>

☆港の駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

☆本島汽船：車両乗船は予約優先になります。

備讃フェリー：車両は前日までに全便予約制です。

☆対象航路は島民の生活航路のため、島民優先乗船にご理解ください。

☆島内に飲食店がない島もあります。飲食食物のご持参をおすすめします。

☆なお、無料期間中の土日祝日については、下記のとおり増便があります。

○本島汽船株式会社

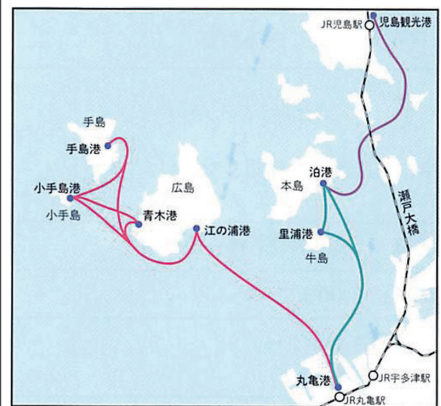
・丸亀港 13:20 発 本島港 13:55 着
・本島港 14:50 発 丸亀港 15:20 着

○備讃フェリー株式会社

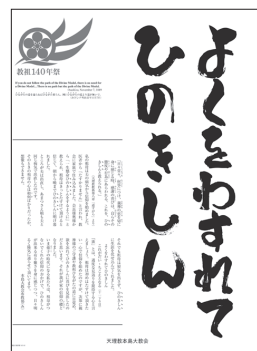
・江の浦港 15:30 発 丸亀港 15:50 着

○六口丸海運有限公司

・児島港 11:10 発 本島港 11:40 着
・本島港 11:45 発 児島港 12:15 着
・児島港 13:30 発 本島港 14:00 着
・本島港 14:05 発 児島港 14:35 着



【教会の掲示板】
本島ドットコムよりダウンロードできます



年間統計表(教会別)

立教 186 年

教会名	別席の誓い	おさづけの戴	修養科修了	講習会修了	教人資格	講習会修了	教人資格	証拠守り	をびや許し	名簿提出回数	にをいがけ	取次報告回数	おさづけ	教会名	別席の誓い	おさづけの戴	修養科修了	講習会修了	教人資格	講習会修了	教人資格	証拠守り	をびや許し	名簿提出回数	にをいがけ	取次報告回数	おさづけ
本清保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	栄星峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	
本備前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	12	12	6	栄東峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	6	-	
本廣島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	霊峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	-	
本迪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	6	6	實峰	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	6	-	
本府中	-	-	1	-	-	-	-	-	-	12	12	12	12	大隅聖峰	4	2	-	-	-	-	-	-	1	4	5	-	
本中國	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大松峰	-	-	1	-	-	-	-	2	-	4	4	-	
沖浦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	大駿峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	9	-	
馬木尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	別峰	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
本亀	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	3	吉松峰	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
本清水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6	6	大英峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	6	-	
本崇徳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	12	文峰	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	5	-	
本与島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8	8	8	肥後八峰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8	-	
本本廣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	4	4	銀峰	-	2	-	-	-	-	-	-	1	6	7	-	
本本勇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	7	7	7	新信峰	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	-	
本本高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	鶴峰	3	-	1	-	-	-	-	-	1	8	9	-	
本宣道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	3	3	3	善峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
阿波本徳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	都峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	-	
本阿波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	仙峰	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12	12	-	
本九倉	2	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	4	4	ホノルル	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本小倉	2	1	-	-	-	-	-	-	-	3	3	3	3	カイク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本陽山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	11	11	カカコ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本大和	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ラナイ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本新郷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	台檀	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本九肥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	キャスル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本肥港	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	7	7	7	ヒロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本山陽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	マウイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
本本千嘉	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	1	1	ワイルク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本新田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	6	6	6	ポートランド	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
本本九台	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	3	3	エヌ・シー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	
本本豊後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ウエスタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本肥峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	マリーナ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	
赤雅峰	1	-	-	-	-	-	-	2	-	12	12	12	12	イリノイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本雅峰	-	-	1	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	ミッドウエスト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本南吉峰	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	キャピタル	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本吉神峰	2	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	5	5	サガバフィク	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	
本神豪峰	3	1	-	-	-	-	-	-	-	6	2	2	2	シアトル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本豪倉峰	-	-	-	-	-	1	1	-	-	12	11	11	11	ハリウッド	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	
本本雄峰	3	1	-	-	-	-	-	-	-	11	12	12	12	ウイルソン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
本本雄峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	タミナル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大雄福峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	7	7	カリフォルニア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本雄山峰	-	2	1	-	-	-	-	1	-	6	5	5	5	シートック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	
本本雄森峰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	6	6	6	本伯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本本雄森峰	1	-	-	-	-	-	-	-	1	10	5	5	5	合計	54	24	13	3	4	15	21	94	107	-	-	-	

[にをいがけ名簿提出回数] [おさづけ取次報告回数]の合計は提出教会数

立教 186年

年間統計表(教会別)

教会名	別席の誓い	おさづけの理	おさづけの戴	修養科修了	講習会修了	教人資格	講習会修了	教人資格	証拠守り	をびや許し	名簿提出回数	にをいがけ	取次報告回数	おさづけ	教会名	別席の誓い	おさづけの理	おさづけの戴	修養科修了	講習会修了	教人資格	講習会修了	教人資格	証拠守り	をびや許し	名簿提出回数	にをいがけ	取次報告回数	おさづけ							
本島	3	1	-	-	1	2	-	1	5	11	11	11	11	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本						
太中	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	2	2	2	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本						
田倉	2	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	12	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本					
陸奥	-	-	-	2	-	-	-	-	3	5	5	5	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本					
榊室	-	-	-	-	-	-	1	-	12	12	12	12	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本					
谷濱	1	-	-	-	-	-	-	-	8	8	8	8	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本				
幸大	1	-	-	-	-	1	-	-	3	2	2	2	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本				
山吹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本				
川路	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本				
都木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本			
代々	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	3	3	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本			
萬代	-	-	-	-	-	-	1	-	7	7	7	7	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本			
都京	-	-	-	-	-	-	-	-	12	5	5	5	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本			
本道	1	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	12	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本			
東盛	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本		
草護	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	4	4	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本		
治三	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	5	5	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本		
三惠	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	7	7	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
山明	1	-	-	1	-	-	-	-	9	9	9	9	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
恵静	-	-	-	-	-	-	-	-	9	9	9	9	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
静日	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6	6	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
日米	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	3	3	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
米浜	-	-	-	-	-	-	-	-	9	6	6	6	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
米臺	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9	9	9	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
米里	1	-	-	-	-	-	1	-	7	8	8	8	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
米臺	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	3	3	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
米里	-	-	-	-	-	-	2	-	7	7	7	7	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
米里	-	-	-	-	-	-	-	1	7	7	7	7	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
米里	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	7	7	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
千代	5	-	-	-	-	-	-	-	12	12	12	12	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
千代	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	6	6	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
千代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
千代	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	6	6	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
千代	-	-	-	-	-	-	-	-	8	6	6	6	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
千代	1	-	-	-	-	-	-	-	6	7	7	7	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
盛濱	-	-	-	-	-																															



教会長登殿参列

【登殿参列係】

- 2月26日月次祭登殿参列者(教会名)
本都・本米臺・本千賀・本亀・崇徳・本柳・攝良・攝津・本山陽・本迪・豪峰・栄峰・大駿峰・同朋・本宮濱(順不同)
※車椅子が必要な教会や登殿月の変更希望等は早めにお知らせ下さい。
- 登殿参列集合について
詰所で教服を着用し、午前7時30分写真の間集合してください。諸説明後、バスにて出発します。
※教服の貸出はありませんので、各自でご用意ください
- 該当月に登殿参列が出来ない場合は、一覧を本島詰所に掲示しておりますので、各自で交代の話し合いを行い、決まった後は必ず登殿参列係へお知らせ下さい。
- 登殿参列係：平井真治郎役員

大教会巡教 (全教会)

【総務部】

- 期間：本年2月から6月まで(海外教会は7月まで)
- ※巡教員は巡教報告書を総務へご提出ください。

少年会実技研修会

【少年会本部】

- 日時：2月27日8:00受付、8:30開講、17:00解散予定
- 会場：敷島詰所
- 受講費：1,000円(昼食込)
但しバルーンアートは1,500円
- コース：「音楽あそびコース」「おはなしコース」「レク・コース」「バルーンアートコース」以上4コースより選択し、2月15日まで少年会本部へお申し込み下さい。

鼓笛隊春季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 第111回本島団鼓笛隊春季合宿
※今年は大教会で実施します
- 集合：3月28日(木)夕刻まで集合
- 解散：大教会近辺の分隊は3月31日(日)夕刻解散。九州、関東分隊は4月1日(月)朝解散
- 参加対象：令和6年度の小学1年生より高校3年生(幼稚園児不可)
※初めての隊員も参加できます
- 会場：本島大教会
- 参加御供：一律4000円+送迎費2000円+フェリー代
- 内容：鼓笛練習
- 服装：練習着・帽子・ポシェット貸与。
※洗濯は28日～29日まで実施
- 携行品：健康保険証のコピー、トレーナーやパーカー2～3枚(練習着の下に着用します)、下着、靴下、パジャマ、タオル、洗面用具、入浴道具、常備薬、室内練習靴、楽譜、ファイフ(1000円で販売)、マスク
- 申込み：3月10日まで各分隊担当までご連絡ください。
- ご相談、ご質問は
佐藤道子(090-7570-4807)まで

MOMOの会



【婦人会本島支部】

- MOMOの会とは、本島につながる子育て中の母親とその同年代の方が対象です
- ◆MOMOの会LINE公式
にご登録下さい
- ◆鼓笛隊応援ひのきしん
- 期間：令和6年3月28日から31日
- 場所：本島大教会
- ◆接待作法勉強会
- 日時：令和6年3月30日
- 場所：本島大教会



廻廊拭きひざ当て貸出

【婦人会本島支部】

本部廻廊拭きひのきしん等に使用する「ひざ当て」を詰所の仮設事務所に置いています(約60組)。教会団参など大勢で伏せ込みひのきしんを実施するときなど、貸し出しますので、婦人会本島支部へご連絡ください。

宮森先生おてなoshi

【おつとめ修練部】

- 日時：2月25日(日)午後3時より
- 会場：本島詰所4階講堂
※どなた様も受講できます。

2月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：2月21日～22日
- 派遣教会：渋谷

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：2月25日、26日
- 派遣教会：本九台、赤峰

春の学生おぢばがえり



【本島学生担当委員会】

- 立教187年春の学生おぢばがえり
一次代を担うようぼくへー
- 日程：3月27日午後4時詰所集合、開講式。午後6時夕とめ参拝。午後7時春Fes参加(東西泉水プール前広場)。3月28日午前6時朝づとめ参拝。午前10時式典参加(本部中庭)。午前11時30分直属アワー(本島詰所)、別席。午後2時30分閉講式、解散。
- 連絡先：
雲庵春彦(090-2515-8039)
横関茂治(090-1138-1690)
※教区参加の方も直属アワー準備のため、事前にご連絡ください。

大教会2月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：2月22日大教会2月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：2月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。申込み後、自動返信メールが送られます。届かない場合は各自の迷惑メールフォルダをご確認ください。

